

# 早生の青ナシ新品種 「なつしずく」の特性

「なつしずく」は、「幸水」より早く収穫でき、良食味で果肉にわずかながら特有の香気があります。

○(独)農研機構果樹研究所で、「幸水」×「菊水」の後代に「筑水」を交雑して2005年に育成されました。

○成熟期は、「幸水」より一週間早く、果皮は黄緑色です。

○果実重及び糖度は、「幸水」と同程度かやや優れます。

○自家不和合性のため、受粉が必要です。「幸水」「豊水」「二十世紀」と和合性があります。

○黒斑病抵抗性です。

○無袋栽培が可能です。

○収穫が早いとデンプン臭があり、遅れると食味が低下するため適期収穫に努める必要があります。

○果実肥大後期に裂果がみられることがあり、「幸水」に準じた注意が必要です。収穫前落果にも注意が必要です。



表1 ナシ「なつしずく」の特性

品種	年次	樹齡 <sup>z)</sup> (年)	満開期	収穫中央日	果実重 (g)	糖度 (Brix)	心腐れ
なつしずく	2005	6	4月18日	8月16日	401	13.7	無
	2004	5	4月10日	8月8日	341	12.8	無
幸水	2005	6	4月17日	8月20日	373	12.7	無
	2004	5	4月10日	8月14日	369	12.7	多

z)2005年は、結実4年目。台木:マンシュウマメナシ。

試験場所:東広島市安芸津町